

令和4年度

まちづくり推進部 大雄地域局の方針書

局名	まちづくり推進部 大雄地域局
局長名	竹内 勉

1. 局の使命(ありたい姿)

地域の皆さんとの協働による元気で明るく幸せな地域づくりを進めます。

2. 局の抱える課題(現状)

- (1)地域の皆さんから信頼され、満足されるサービスの提供のために、職員一人一人接遇やスキルを向上させる必要があります。
- (2)開設して2年目を迎えた大雄地区交流センターが安定した地域自主活動が展開できるよう、自主運営組織への自立支援を進めていく必要があります。
- (3)所管する公共施設を市民の皆さんから快適に利用していただくため、施設の管理(点検・修繕)を的確に行う必要があります。

3. 今年度の『スローガン』

地域の皆さんのために！地域の皆さんとともに！

4. 今年度の方針

- (1)市民から信頼され、満足されるサービスを提供します。
- (2)市民との協働により、安定した地区交流センター運営を進めていきます。
- (3)所管公共施設の適切な維持管理を実施します。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	市民から信頼され、満足されるサービスの提供
	取組内容	①お客様に対し、積極的に「あいさつ」「声掛け」を行い、「来てよかった。」と喜んでいただく窓口サービスを行います。 ②職員一人ひとりが研修受講等自己研鑽に努め、スキルアップを図ります。 ③仲間と協力しながら、業務のダブルチェックを励行し、ミスのない業務執行に努めます。
(2)	実現したい成果	地域住民との協働による、安定した地区交流センター運営
	取組内容	①自主運営組織に対し連携を密にしながらも、徐々に自立して地域自主活動を展開できるよう事業協力、活動支援を継続していきます。 ②4つの部会がそれぞれ計画した事業について、スムーズに進めていくことができるよう、また、部会間が連携できるよう橋渡し役としてサポートします。 ③地区交流センターについて市民に広く周知し、地域住民が主体的に取り組めるようサポートします。
(3)	実現したい成果	所管公共施設の適切な維持管理の実施
	取組内容	①FM計画に基づき、所管する公共施設の点検、修繕を的確に実施し、安全安心な利用環境を提供します。 ②施設利用者から意見等をいただき、住民ニーズの把握に努め、住民の皆さんの理解を得ながら施設の再配置を進めます。 ③大規模な修繕が必要な施設については、早期に改修工事に着手できるよう関係部局と協議を進めます。

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- (1) 市民から信頼され、満足されるサービスの提供
 - ・来客の皆様に対し、職員全員が積極的に「あいさつ」「声掛け」を行い、相手の立場に立った対応を行っております。また、一昨年度実施した窓口アンケートを今年度も実施しており、いただいた意見等を参考にしながら、窓口業務の改善に努めます。
- (2) 地域住民との協働による、安定した地区交流センター運営
 - ・設立2年目となり、自主運営組織に対して徐々に自主活動を展開できるよう活動支援を行っています。4つの部会(①地域づくり部会②人づくり部会③スポーツ・文化部会④子ども部会)が連携するよう橋渡しとなり、活動状況や今後の活動計画等についての会議へ積極的に参加しています。センターのPRや活動内容を地域の皆様に広く知っていただくため、月1回の地区交流センターだよりを発行しています。
- (3) 所管公共施設の適切な維持管理の実施
 - ・所管施設について、破損を最小限にとどめるため、限りある予算の範囲内で早期修繕に取り組みました。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- (1) 市民から信頼され、満足されるサービスの提供
 - ・引き続き来庁されたお客様に対し、あいさつ、声掛け、丁寧な案内・説明を心がけるとともに、窓口アンケートの結果を地域局全体で共有し、更なるサービス向上につなげます。
- (2) 地域住民との協働による、安定した地区交流センター運営
 - ・自主運営組織が行政に頼らずに自主的に活動していく自立した地域づくりのため、引き続き自主運営組織の自立に向けたフォローをしています。
- (3) 所管公共施設の適切な維持管理の実施
 - ・緊急性の高い箇所を優先的に修繕しながら、利用者の安全安心を確保していきます。また、維持、長寿命化など施設全体の将来計画を再度見直し、再配置方針(FM計画)について、関係課所との協議を進めていきます。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

- (1) 市民から信頼され、満足されるサービスの提供
 - ・来庁されたお客様に対し、あいさつ、声掛け、丁寧な案内・説明を心がけてきました。また新型コロナウイルス感染予防対策として、一昨年より当番制により庁舎内特にカウンターの清掃や室内の換気をこまめに実施しており、感染予防対策を徹底しました。窓口アンケートの結果では、職員の説明について9割の方が「大変良い・良い」という評価をいただきました。今後とも更なるサービス向上につなげていきます。
- (2) 市民との協働による、安定した地区交流センター運営
 - ・設立2年目となり、自主運営組織に対して徐々に自主活動を展開できるよう活動支援を行っています。4つの部会(①地域づくり部会②人づくり部会③スポーツ・文化部会④子ども部会)が連携するよう橋渡しとなり、活動状況や今後の活動計画等についての会議へ積極的に参加しています。おおむね事業計画に沿って各部会事業(生涯学習奨励員の協力による各種学習・サークル活動、グラウンドゴルフ大会、ゲートボール大会、8人制バレーボール大会、郷土学習講座、地域づくりセミナーなど)を実施しています。またセンターのPRや活動内容を地域の皆様に広く知っていただくため、月1回の地区交流センターだよりを発行しています。今後も地域局、地区交流センター、地域住民が互いに協力しながら地域活性化のために地区交流センター事業を進めていきます。また引き続き田根森・阿気両地区会議をはじめ地域内の各分野の団体と連携し、定期的に話し合いをしながら、地域課題の解決につながる事業にも取り組んでいきます。
- (3) 所管公共施設の適切な維持管理の実施
 - ・各施設の修繕を行いながら利用者の安全安心を確保してきました。地域内の施設については再検証し、住民の皆さんが利用したい、残してほしいという声を拾いながら、将来的に何が必要かを検証していきます。所管施設の大規模・小規模修繕箇所などを考慮しながら、施設全体の将来計画を見直し、関係課所と協議しながら大雄版FM計画を策定します。